

2025

1

ナイル

現代短歌ナイル

ナイルキャンパス／五代目神田伯梅

芙貴子ワールド／松本芙貴子
偶然の糸を遊ぶ【7】

11月号作品批評／宮本史一（心の花）

涼さんのにぎわいホビ～／橋本涼

高校生短歌特集【4】



NILE CAMPUS

307

伯梅閑話 ― 縁がある ―

小村井敏子(五代目神田伯梅)

縁があると思うことがある。その番組を見たい聞きたいと思つてではなく、偶然に六代目神田伯山師が六代目神田伯龍について語るNHKのテレビを見た。毎回見ているわけではないのに「日本の話芸」で八代目一龍齋貞山師を見た。ネットの不具合から、テレビが見られなかったパリオリンピック期間に、YouTubeの「問わず語りの神田伯山」で、七代目一龍齋貞鏡襲名披露パーティのなかなかな雰囲気を知ることができた。高校の同級生の娘である活動弁士山崎バニラさんが出たNHKの番組もそうだ。

そもそも、我が夫、六代目伯龍の生家は、鈴ヶ森刑場跡にほど近い。敏子の母方の曾祖父は、近江の国、木之本黒田村の人で、江戸送りになった罪人を送つて、鈴ヶ森刑場まで来たという。気の毒な事情のあつた罪人だったという。お決まり通り、処刑後、芸者呼んで飲むことになる。その芸者が素敵だったらしく、生まれた娘にその芸者の名をつけたが、似ても似つかぬごついおばさんになったという。私や母のような体形だったのだろう。そのあと、一家を引き連れて、浅草に出てきた。その後、祖父の代に、転々としたが、何度隣家が火事になつても焼けなかった家と新聞に載つたとか。敏子が鎌倉に勤め、一人暮らしをしたとき、留守中、前の家が放火されて何軒か焼けたが、我が家は隣人がホースで水をかけてくれて、無事だった。

伯龍の妻、千代夫人(ご先代様と私たちは呼んでいた)の祖先は、近江の出だと聞く。八代目一龍齋貞山師を連れて行つたことがあるが子供のことでどこなのかは覚えていないと聞いた。千代夫人の実家は、麹町。私も幼稚園に入る年まで、麹町に住んでいたと母に聞かされていたが、のちに、区役所の書類で確認すると麹町に近いが、番町だった。最寄り駅は市ヶ谷。靖国神社は徒歩圏で、母は夜泣きする子連れて靖国神社に行ったそうだ。番町のおばさんという人がいたというから、その関係かもしれない。